

話題 あれこれ

社会を明るくする運動 ～更生保護メッセージ伝達式～

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。みどり市でも、この運動を広く市民へ周知し、理解を深めるため、7月の啓発月間に合わせてみどり保護区保護司会長及びみどり地区更生保護女性会長から市長へ更生保護のメッセージを伝達しました。

今年度は伝達式の様子がYouTube配信されました。



みどり市身障者連盟 グラウンドゴルフ交流大会

7月5日(火)にサンレイク草木でグラウンドゴルフ交流大会を行いました。久々の開催となりましたが、12人が参加しました。スポーツを通して仲間との親睦を深め、健康増進する良い機会となりました。



みどり市母子寡婦会 親子ふれあい交流事業



7月24日(日)・25日(月)にみどり市母子寡婦会主催事業「親子ふれあい交流事業」を行い、8世帯19人の親子と栃木県日光市鬼怒川温泉方面へ出かけました。

栃木県子ども総合科学館、道の駅うつのみやろまんちっく村、東武ワールドスクウェアを散策し、親子同士の親睦を深めるとともに、夏休みの思い出になる旅行となりました。参加した人の楽しそうな笑顔が印象的でした。

ボランティア講座(高校・大学生災害講習会) ～災害が起きたらどうする！？～

大間々高校・桐生大学の在学生及び市内在住の高校生を対象に、災害をテーマとしたボランティア講座を3日間(8月9日(火)、17日(水)、24日(水))の連続講座で実施しました。

学生6人の参加があり、防災基礎知識の学習をはじめ、市内危険箇所をハザードマップで確認することや栃木県防災館での自然災害の疑似体験、災害対応カードゲーム「クロスロード」を使ったゲームを通じ災害を身近に感じることができました。高校・大学生を対象としたボランティア講座は初めての試みでしたが、学生からは「地震体験で、本当に起こったら何も出来ない怖さを感じた」「みどり市の危険箇所が分かった」との意見もありました。

近年、さまざまな災害が起きているなか、社協としても災害に対して常日頃から関係機関との連携が大切だと感じる講座となりました。

